

第17回「創価大学ダ・ヴィンチ賞」候補者募集のお知らせ

学生の学業面での活躍、勉学努力を表彰する賞である「創価大学ダ・ヴィンチ賞」の表彰・選考を、本年も第17回として実施いたします。全学生(学部学生・大学院生・別科生)の皆さんからの積極的な推薦をお待ちしています。

1. 対象 学部学生・大学院生・別科生(個人または団体)

2. 賞品

- ① 記念品
- ② 図書券(図書カード)
- ③ 学部在学学生については、在学中、中央図書館・閉架書庫への入庫を認める。

3. 推薦理由となる評価内容

- ※ 該当する項目の推薦区分を推薦書にご記入ください。
- ※ 以下の項目の該当者が候補者となります(自動的に受賞者となるわけではありません)。
- ※ 評価対象となる業績は2016年度のものに限ります(但し、昨年度締切日以降のものは考慮します)。

◆1 学業に関する評価

【推薦区分:1-1】 IPテスト年間最高得点者

- * なお、英語を母語としない学生であることを条件とする。
- 教務課より該当者を推薦していただきます。

【推薦区分:1-2】 英語検定高得点者(以下の試験に限る)

- ① TOEFL PBT600 点以上 (ITP 可)、CBT250 点以上、iBT100 点以上のいずれかを獲得
 - ② TOEIC 920 点以上獲得(IP 可)
 - ③ IELTS 7.0 以上
 - ④ 英検 1級合格
 - ⑤ 国連英検 特A級合格
- * なお、英語を母語としない学生であることを条件とする。
 - * 合格証(①②③)はスコア票を含む)を添付すること。
 - 推薦者=学生もしくは教職員
 - ※ 各種英語検定試験については、上記のどれかで1回のみでの受賞となります。したがって過去においてすでに上記の試験で受賞している方は対象となりません。
 - ※ 学内実施のTOEFL ITP、TOEIC IPでの申請も可です。
 - ※ シュリーマン賞の受賞者がダ・ヴィンチ賞に応募することは可能です(段階的な基準設定となっているため)。ただし、各種英語検定試験において、ダ・ヴィンチ賞の基準を超えるスコアであっても、一つのスコア表や合格証で、シュリーマン賞とダ・ヴィンチ賞の両方を受賞することはできません。

【推薦区分:1-3】 その他、難関の語学試験合格者(例示的列挙)

- * 通訳案内士国家試験 合格
- * 中国語HSK(漢語水平考試) 新試験で6級合格のうち、190 点以上
- * 中国語検定準1級
- * 韓国語能力検定TOPIK6級
- * ロシア語検定試験Гр к и 第2レベル
- * なお、当該言語を母語としない学生であることを条件とする。
- * 合格証を添付すること。
- 推薦者=学生もしくは教職員
- ※ 英語以外の各種語学検定試験も、一つの言語について1回のみでの受賞となります。

- ※ シュリーマン賞の受賞者がダ・ヴィンチ賞に応募することは可能です(段階的な基準設定となっているため)。ただし、すべての語学試験において、ダ・ヴィンチ賞の基準を超えるスコアであっても、一つのスコア表や合格証で、シュリーマン賞とダ・ヴィンチ賞の両方を受賞することはできません。

【推薦区分:1-4】

全国あるいは国際規模の学会や団体からの受賞、または国際的に評価されている学術専門誌への論文掲載など、ゼミナール・研究室における研究や卒業研究等の内容の卓越性が対外的に認められた者

- * 大会、競技会の開催要領や過去の実績など、その受賞の価値を判断する資料となるもの、及び受賞の証書などを必ず提出すること。
- 推薦者＝学生もしくは教職員

【推薦区分:1-5】 今年度卒業する学部留学生のうち通算GPA最高位の者

- * なお、特待生に選ばれていないことを条件とする。
- 教務課より該当者を推薦していただきます。

◆2 正課外の学術的・社会的業績に関する評価

【推薦区分:2-1】

全国あるいは国際規模の団体や学会からの受賞、また、そうした団体等が主催する大会、競技会などで卓越した成績を上げるなど、社会的に高い評価を得たクラブ・団体や個人

- * 大会、競技会の開催要領や過去の実績など、その受賞の価値を判断する資料となるもの、及び受賞の証書などを必ず提出すること。
- 推薦者＝学生もしくは教職員

【推薦区分:2-2】 スピーチ・コンテスト等の優勝者

- ① 本学開催のスピーチ・コンテスト等の優勝者
- 学生課(学友会担当)の推薦に基づき、選考します。
- ② 学外の権威あるスピーチ・コンテスト等の優勝者
- * 大会、競技会の開催要領や過去の実績など、その受賞の価値を判断する資料となるもの、及び受賞の証書などを必ず提出すること。
- 推薦者＝学生もしくは教職員

【推薦区分:2-3】 社会貢献が顕著な者・団体

- ① 施設、被災地等でのボランティア活動で顕著な実績を挙げた者・団体
- ② 人命救助などの功績を挙げた者・団体
- ③ 人権・環境等の社会的問題に対して積極的に行動して実績を挙げた者・団体
- * いずれの場合も表彰状、新聞記事など、実績を証明する資料を添付すること。
- 推薦者＝学生もしくは教職員

◆3 資格試験・進路に関する評価

【推薦区分:3-1】 難関といわれる資格試験等に現役合格した者

- ① 司法試験、公認会計士試験、税理士試験、外交官試験、国家公務員総合職試験に合格した者
- 国家試験研究室より該当者を推薦していただきます。
- ② 特に難関とされる都道府県、政令指定都市の地方公務員上級試験に合格した者
- 行政教育センターからの推薦に基づき、選考します。
- ③ 特に難関とされる都道府県、政令指定都市の教員採用試験に合格した者
- 教職キャリアセンターからの推薦に基づき、選考します。
- ①～③は学生、教職員からの推薦は受け付けません。したがって、受験・合否を関係部課に必ず報告してください。報告しない者は選考の対象外となります。
- ④ その他の資格試験、公務員採用試験等の合格者
- 推薦者＝学生もしくは教職員

【推薦区分:3-2】企業就職をめざした活動で特筆すべき努力・成果がみられた者

- ① 「フォーチュン・グローバル500」(米国経済誌「フォーチュン」より毎年発表される「世界企業の売上高上位500社」)にランクインした企業のうち、難関の総合職・専門職での採用試験に合格した者
 - ② 社会的評価や競争率が高い「新規開拓企業」「未上場企業」「地方優良企業(Uターン就職)」での採用試験に合格した者
- キャリアセンターからの推薦に基づき、選考委員会にて選考します。
 - ①②とも学生、教職員からの推薦は受け付けません。したがって、キャリアセンターに必ず進路登録カードを提出し、採用を報告してください。報告しない者は推薦の対象外となります。
 - ホールディングスの場合、代表的な中核企業への採用を対象とします。
 - 学校推薦・リクルータ推薦での採用も対象とします。

4. 推薦方法・推薦先 次の①②のいずれかの方法で推薦してください。

- ① 所定の推薦書に必要な事項を記入の上、学生課窓口へ提出する。
 - ② Eメールにて、「ダ・ヴィンチ賞選考委員会」アドレス(davinci@soka.ac.jp)宛に、必要事項を入力の上、推薦書を送信する。その場合、大学のアカウントからの送信を署名・捺印に代えるものとし、民間プロバイダ等からの送信は認めない。
- * 参考資料の提出が必要な項目は必ず推薦書に添付して提出すること。紙で提出の場合は、推薦書と参考資料をホッチキスで必ず留めること。証書類はコピーでよい。Eメールで提出の場合は、参考資料を鮮明な画像ファイルとし、推薦書と同一メールに添付して送付すること。期日後における参考資料の追加提出は、事前に相談があった場合のみに限る。
- ※推薦書の出ている学生のみが候補者となりますので、ご承知おきください。

5. 推薦締め切り 2017年2月2日(木)正午※時間厳守

6. 選考方法

- ① ダ・ヴィンチ賞選考委員会として調査(推薦者、候補者のゼミ教員への聞き取り等)を行う。
- ② 同選考委員会・学生部委員会にて審議の上、最終的に学長が決定する。

7. 合否結果の通知について

合否の結果については、2017年3月上旬～中旬にかけて、候補者・推薦者ともにポータルサイトにて通知させていただきます。

8. 表彰

- ① 学部・大学院卒業生、別科生については、卒業式の席上、表彰式を行う。
- ② 学部・大学院在学学生については、入学式の席上、表彰式を行う。

9. 問い合わせ先 「創価大学ダ・ヴィンチ賞」選考委員会 davinci@soka.ac.jp 学生課 [042-691-2205](tel:042-691-2205)